

宮城県

# トーマツら共同提案を特定

## 仙台空港・周辺開発検討

宮城県は、仙台空港等活性化案4者の中から、トーマツと業務委託候補者に決めた。23日におよび仙台空港周辺開発にプロイトトーマツファイナンシャルアドバイザーの2社に契約する予定。契約履行期限は今年30日だが、提案で求めた工程計画をもとに関係

機関と協議し、延長する。次点など他の提案者名は非公表。

県は、東日本大震災で津波被害を受けた仙台空港と周辺地域の復興に、改正PFI法に盛り込まれたコンセッション(公共施設等運営権)の導入を検討。民間ノウハウによる戦略的な空港経営を目指す。同空港等活性化検討会・臨空地域等活性化検討会を2月に設置。利便性の向上や関連する仙台空港ビル、仙台エアカーゴタミナルビル、仙台空港鉄道の3社を含め、地域全体の開発・振興策をまとめる。業務では、▽現状と事業規模の把握▽三セク3社の事業改善の可能性・コスト負担力の検討▽コンセッション実現に向けた課題と解決策▽周辺のポテンシャル・ニーズの把握と分析▽官民連携による開発・振興策とその実現性▽アイデアレベルの構想とスキームの検討―など。予算上限額は1000万円以内。